

タウンミーティング 平成30年10月28日(日)開催 <渡戸3丁目集会所>

地域別テーマ：高齢者福祉について
：地域活性化について

①

Q 富士見市に40年以上住んでいるが、以前は65歳以上の医療費が無料の時代があった。後期高齢者医療の保険料が上がり、夫婦で負担となっているので保険料を下げしてほしい。

A (市長)

昭和40年代は高齢者を支える若い世代が多くいましたが、現在のように高齢者人口が増加している中で若い世代が負担していくのは難しくなっています。後期高齢者医療の保険料につきましては、埼玉県後期高齢者医療広域連合で決定しており、その額は県内統一となっておりますのでご理解をお願いします。国民健康保険につきましても、国民健康保険制度の改革により、埼玉県が中心となって運営していくこととなりますが、日本全体が同じ仕組みで動いている中、保険料を下げることは現実的には難しいことです。一般会計から国民健康保険会計に対して繰入金の投入を継続していますが、ずっとこのままというわけにはいきませんので、段階的に値上げをさせていただくことにご理解をお願いします。

②

Q 70歳以上の高齢者は市内循環バスが無料で乗車できるが、今後は料金負担が発生するという話を聞いた。高齢者が外に出る機会が減ると医療費の増加に繋がるのではないかと。無料乗車を継続してほしい。

A (市長)

無料乗車の継続は、難しいと考えております。

その理由としましては、ららぽーと開業により新たなバス路線が開通したことで、市内循環バスに料金を支払って乗車するお客さんが減少したことなどがあります。市内循環バスを運行させるために市は補助金を支出しておりますが、料金収入の減少に応じて際限なく補助金を増やすことはできないと考えております。

しかしながら、一般乗車と同じ料金をいただくということではなく、半額をご負担いただくなどの方式を取りたいと考えております。

また、公共交通会議において検討されましたデマンドタクシーを平成31年度の運行開始に向けて予算化していきたいと考えております。

③

Q ふじみ野市にあるエコパのプールを利用している。富士見市にはガーデンビー

チがあるが夏場しか利用できない。隣にある環境センターの余熱を利用して温水プールを整備してほしい。

A (市長)

環境センターの更新には多額の費用がかかります。先日、さいたま市桜区の環境センターを視察してきましたが、エコパと同じように入浴施設などがあり、整備に200億円以上かかったそうです。

富士見市は、志木市と新座市と一部事務組合方式で環境センターを運営していますが、3市で2つの環境センターを運営しており、これ以上の費用負担は難しいと考えております。

④

【意見】 市内循環バスの特別乗車証は、バス路線が通っていない地域の住民はその恩恵を受けられず不公平だと思っていたので、新たに負担を求めることには賛成である。

デマンドタクシーの導入にしっかりと取り組んでほしい。

⑤

Q 災害発生時に地域の高齢者を町会の役員や民生委員がフォローする組織を作っているが、災害があったときに、どこまで取り組むことができるのか。

避難所の運営なども課題になるのではないか。

A (市長)

避難所生活の不安については、他地域のタウンミーティングでもご意見いただきました。基本的には、避難場所となる小学校ごとに地域対策本部職員がおりますので、その職員が駆けつけて初動の対応を取ることになります。

しかしながら、長期的には地域の皆様の自助・共助の部分でご協力をいただくこととなりますので、市としましても、避難所宿泊訓練の実施のほか、防災リーダー講習会などを通じまして、地域と一緒に取り組んでまいります。

A (自治振興部長)

今年の3月に地域防災計画の見直しを行いました。その中で、高齢者や妊婦の方、外国人など、避難時に配慮が必要な方を避難行動要支援者と位置づけ、それぞれ個別の計画を作ることとしました。

今までは手上げ方式でしたが、市が持っている要支援者の情報を災害時には地域の皆様に一部提供することで避難行動の支援をお願いしたいと考えております。

⑥

Q 羽沢1丁目地域は沢地になっており、大雨の時は山室排水路から水があふれて水害が出たこともあると思う。その排水路を見ていると、擁壁に亀裂があるなど不安な部分もあるので、市が確認をしてほしい。

A (市長)

排水路の擁壁など、担当の道路治水課で確認させていただきます。場所を教えていただければ確認のうえ、対応を検討していきます。

⑦

【意見】町会長連合会の研修で群馬県桐生市の清掃センターを視察した。余熱を利用した温浴施設も含めて整備するのに350億円かかり、経営は赤字だと聞いた。

このような事業は、後々、子どもたちに負債を残してしまわないか考える必要がある。

⑧

Q この地域でも空家の問題がある。今年は大きな台風が何回もあったが、その空家は強風が吹くと、劣化したコンクリートが落ちてきて危険である。所有者は遠方に住んでいるが、市で確認のうえ連絡をしてほしい。

A (市長)

市では今、空家等対策計画を策定中ですが、計画策定のために市内の空家を調査しており、こちらの地域の空家についても把握しております。

周囲に危険を及ぼすような空家については、所有者の確認ができれば、連絡して対応をお願いしてまいります。すぐに対応してもらえない場合は粘り強く交渉していくこともあろうかと思えます。

解決に向けて所有者が解体しやすい方法なども検討していきたいと考えております。